

【演題】

生き生き楽しい病院生活を過ごすために

- よか（余暇）ヨカ（良か）メニューの活用 -

【代表研究者】

白濱 美佳

【共同研究者】

桜井瞳、御書あゆみ、池畑飛鳥

【目的】

回復期リハビリテーション病棟では、限られた期限の中で自宅復帰を目的としているが、日々の余暇時間が長いため、時間の使い方が問題となる。今回、余暇時間有効活用のために余暇時間に対するアンケート調査を行い、よかヨカメニュー作成し、レクリエーションを実施したので報告する。

【方法】

余暇時間に対するアンケート調査（聞き取り）40名 よかヨカメニューの作成
レクリエーションの実施、スタッフによる患者の行動評価（30名）

【結果】

余暇時間に対するアンケート結果は、半数以上の患者が余暇時間の有効活用が出来ていないことがわかった。余暇時間の有効活用に関して、よかメニュー作成し患者それぞれにあった役割を与える工夫を行った。

【考察】

余暇時間の有効活用と共に患者の主体性を大切に、よかメニューを作成したことで、患者自身が主体的にレクリエーションへ参加できるようになったことから患者のニーズに応えることができたと考える。今後も、患者の主体性を大切にし、病院生活で制限されている日常から 1 日の少しの時間でもレクリエーションを行い、生き生きとした病院生活を送ることができ余暇時間の有効活用へと繋げていきたい。